

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	商工政策課長 新谷 伊子	電話番号	0852-22-5286
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	計量検定検査事務		
目的	(1) 対象	計量器を使用する事業所を利用する人に	
	(2) 意図	適正な計量結果が得られるようにする。	
事業概要	適正な計量の実施を確保するため、計量器の修理・販売事業者等計量関係事業者を指導・監督し並びに各事業所において取引・証明に使用される計量器の検定・検査により正確な計量器の使用を図る。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			立入検査時における不適正率	目標値		0.00	0.00	0.00	
		不適正件数/検査件数×100	実績値	3.90	0.27	0.03	0.15		%
			達成率		-	-			%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値								
式・定義	実績値								
	達成率						%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	6,817	8,669
うち一般財源 (千円)	287	3,401

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

不適正率は、ガスメーター立入検査 0%、商品量目立入検査 4.8%となり、全体では0.15%で目標値0%は達成できなかった。引き続き、不適正率0%を目標値とする。（立入検査は年次計画により実施しているが、平成26年度は水道メーターにおいて立入対象事業者がなく、実施していない。）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

ガスメーター立入検査では、不適正率が平成25年度、平成26年度と2年間不適正率が0%となり、適正計量に寄与した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
商品量目立入検査での不適正率が、水道メーター・ガスメーターに比べ高い。
- ②困っている状況が発生している「原因」
ごく一部の事業者に法令遵守・適正計量に対する認識が低かった。
- ③原因を解消するための「課題」
目標達成のためには、事業者において、計量は経済活動の根幹であることを認識するとともに、県民に適正な計量結果を提供する責任を自覚し、自主的な計量管理が行われることが重要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、事業者に対し適正計量の意識の醸成を図られるような検査、指導を実施していく必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）